



平成26年6月27日

関係各位

鹿児島県工業技術センター
所長 永吉弘己

平成26年度研究成果発表会のご案内

皆様には日頃から当センターの事業推進につきましては、ご支援、ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、当センターでは、試験研究・技術支援の成果を広く県民の皆様に広報・普及し、県内産業の活性化や技術向上に資するため、標記発表会を下記のとおり開催いたします。

つきましては、御多忙とは存じますが、是非御参加くださるようお願い申し上げます。また、関係の方々へも併せてお知らせください。

お申し込みは当センターホームページまたは裏面の参加申込書により、お願いいたします。

記

- 1 開催日時 平成26年7月17日（木）13:00～16:10
(受付開始 12:30～)
- 2 内 容 同封のプログラムをご覧ください。
- 3 会 場 鹿児島県工業技術センター（霧島本庁舎）大会議室
霧島市隼人町小田1445-1
TEL: 0995-43-5111
FAX: 0995-64-2111
- 4 参加費 無 料
- 5 参加申込 FAXまたは下記のURLからもお申し込みができます。
<http://www.kagoshima-it.go.jp/>

鹿児島県工業技術センター（FAX 0995-64-2111）

企画支援部宛て

参加申込書

平成26年7月17日(木)開催の研究成果発表会に参加します。

団体名等 : _____

電話番号 : _____

FAX番号 : _____

参加者氏名 : _____

【お問い合わせ先】

〒899-5105

鹿児島県霧島市隼人町小田1445-1

鹿児島県工業技術センター

担当 東

TEL 0995-43-5111

E-mail info@kagoshima-it.go.jp

URL <http://www.kagoshima-it.go.jp/>

(個人情報の取り扱い)

御記入いただきました個人情報は、当センターの業務のみに使用します。



鹿児島県工業技術センター

平成26年度 研究成果発表会

と き : 平成26年7月17日(木) 13:00~16:10
 と ころ : 鹿児島県工業技術センター 霧島本庁舎 (大会議室)

プ ロ グ ラ ム

■ 受付

12:30~

■ ポスターセッション

13:00~13:15

16テーマ

■ 開会

13:15~13:20

あいさつ

所長 永吉 弘己

■ 口頭発表 第1部

13:20~13:55

スポット溶接部における引張せん断強さとナゲット径の関係

13:55~14:15

静電気放電発生箇所可視化技術の開発(その2)

14:15~14:35

陶磁器製品の漏れ原因と検査に関する研究

■ ポスターセッション(休憩)

14:35~15:05

16テーマ

■ 口頭発表 第2部

15:05~15:25

炭酸ガスレーザー加工技術を用いた「パズルカヌー」の開発

15:25~15:45

シラス断熱材を利用したバイオマスボイラーの開発と実用化

15:45~16:05

有色米を用いた醸造酢製造技術の開発

■ 閉会

16:05~16:10

あいさつ

副所長 中村 俊一

■ 口頭発表

第 1 部

○口頭発表者

発表時間	発表テーマと概要	発表者
13:20 ~13:55	<p>■スポット溶接部における引張せん断強さとナゲット径の関係</p> <p>冷間圧延鋼板のスポット溶接部に対し、引張せん断強さとねじり試験によるナゲット径の間には直線性があることを明らかにしました。通常電極再成形等の工程変更時や工程内の抜き取り検査時に、ナゲット径測定が行われています。ナゲット径データは、引張強さの間接保証に活用できます。</p> <p>(ポスターセッションあり)</p>	<p>神奈川県産業技術センター 機械・材料技術部 ○薩田 寿隆</p>
13:55 ~14:15	<p>■静電気放電発生箇所可視化技術の開発（その2）</p> <p>電子関連企業等で深刻化している静電気放電トラブルに対応するため、放電位置を可視化する技術を開発及び実用化しました。放電に伴い発生する電磁波を、4本の受信アンテナに到達する時間差で放電源の座標を特定し、被測定物の撮影ビデオの画像上で放電位置を可視化できました。</p> <p>(ポスターセッションあり)</p>	<p>生産技術部 ○尾前 宏</p>
14:15 ~14:35	<p>■陶磁器製品の漏れ原因と検査に関する研究</p> <p>陶磁器製品へ焼酎などのアルコール類を長期保存すると内容物が減少するといった問題を生じることがあります。今回、これらの液体物を入れる甕等を対象として、内容物の漏れ原因を調査しました。国内および海外製品における漏れの原因や、漏れる製品を検出する方法について検討しましたので報告します。</p> <p>(ポスターセッションあり)</p>	<p>生産技術部 ○桑原田 聡</p>

第 2 部

15:05 ~15:25	<p>■炭酸ガスレーザー加工技術を用いた「パズルカヌー」の開発</p> <p>誰でも簡単に作れる「パズルカヌー」を製品化しました。レーザー加工で精密にカットされた厚さ4mmの合板製パーツをキット化したものです。当センターは、CAD・CAMプログラミングや、接合部の構造、組み立て工法、レーザー加工等の技術支援を行いました。</p> <p>(ポスターセッションあり)</p>	<p>(有)アーキ・テック ○入来院 洋一 研究主幹 (企画支援担当) ○中村 寿一</p>
15:25 ~15:45	<p>■シラス断熱材を利用したバイオマスボイラーの開発と実用化</p> <p>火山噴出物のシラス、軽石を利用した環境に優しい安価なバイオマスボイラーの開発を目指しました。燃烧室や貯留槽の耐火材、断熱材、保温材、蓄熱材として、シラスボードや軽石の適用性の検討を行い、評価しました。燃烧室内に軽石を敷詰めることで、グレーチングの溶け落ちを防止し、断熱効果を発揮することを確認しました。</p> <p>(ポスターセッションあり)</p>	<p>(株)オーケー社鹿児島 ○榎田 浩一 シラス研究開発室 袖山 研一</p>
15:45 ~16:05	<p>■有色米を用いた醸造酢製造技術の開発</p> <p>黒米のアントシアニン、赤米のプロアントシアニジン。有色米はこれらの機能性色素を含んでいます。今回、玄米を使用する伝統的米黒酢の製造技術に倣って、有色米を使った醸造酢を試作しました。機能性色素を活かした醸造酢並びにもろみ末の成分的な特徴について検討しましたので報告します。</p> <p>(ポスターセッションあり)</p>	<p>食品・化学部 ○松永 一彦</p>

■ ポスターセッション

口頭発表を含む16テーマについて、パネルと実物により担当者が説明します。

発表時間	発表テーマと概要	発表者
第1部 13:00 ～13:15	<p>◆透かし織物の製造技術に関する研究 従来の平織の大島紬と異なり、透目をつくるために模紗織や箄通しを変えた手法による、夏用織物の製造技術の開発に取り組み、絹糸・ガス綿糸を織素材として37点の試作を行いました。通気性や透け感は、片撚糸よりも駒糸を使用した方が効果が現れました。</p>	企画支援部 平田 清和 恵川 美智子
第2部 14:35 ～15:05	<p>◆大島紬絣文様集Vol.4小中柄（地詰柄）の発刊 大島紬の絣文様は、先人から受け継がれた貴重な文化遺産です。当センターでは、これらの絣文様を調査研究し、体系化を行っています。本年度は昨年の小中柄（飛び柄）に引き続き、小中柄（地詰柄）を図録し、大島紬絣文様集Vol.4小中柄（地詰柄）として発刊しました。</p>	企画支援部 徳永 嘉美
	<p>◆大島紬絣文様集Vol.5割込柄の発刊 大島紬の絣文様は、先人から受け継がれた貴重な文化遺産です。当センターでは、これらの絣文様を調査研究し体系化を行っています。本年度は小中柄の次に登場した、大島紬において最も古典をイメージさせるにふさわしい割込柄の基本形を図録し、大島紬絣文様集Vol.5割込柄として発刊しました。</p>	企画支援部 徳永 嘉美
	<p>◆製糖副産物からのカリウム分離技術の開発 —糖蜜（三番蜜）を原料とした醸造酢の製造— 製糖副産物である三番蜜には多くの糖分が残っていることから、醸造酢の原料として利用できます。しかし、三番蜜にはカリウムが多く含まれているため、発酵阻害や味（苦み・えぐ味）が問題となります。そこで、天然ゼオライトを用いてカリウムを除去し、発酵阻害や香味の改善を試みました。</p>	食品・化学部 安藤 浩毅
	<p>◆植物由来桂皮酸類による環境調和型エンプラの製造技術の開発 —さつまいも茎葉ポリフェノールを原料とした新規マテリアルの製造— さつまいも茎葉には多くの桂皮酸類（ポリフェノールの一種）が含まれており、それらは耐熱性のあるバイオマスプラスチック（BP）原料として期待されています。そこで、さつまいも茎葉から桂皮酸類の水熱抽出を行い、BPの重合に適した抽出条件及び精製条件を検討しました。</p>	食品・化学部 安藤 浩毅
	<p>◆小ロット絣染色の高度化に関する研究 ファッション性の高い大島紬製造において、絣の染色ムラや長短による不揃い及び防染絣部の汚染は、色の強弱の発生や汚さにつながり、品位を損ねます。この改善を現状の締め用綿糸より細かい綿糸を使い、絣糸となる一束の絹糸本数を減らす方法によって、絣の均一化を図り、絣製造における小ロット化技術を確立しました。</p>	食品・化学部 向吉 郁朗
	<p>◆木造建築物の構造強度性能に関する技術支援事例 建築物の安全性を確保するためには、耐震性能の評価が重要になります。当センターにおいても木造軸組部材の接合強度試験や耐力壁の面内せん断試験等の技術支援を実施して、県内関連企業における新工法開発や耐震性向上等に寄与しています。</p>	地域資源部 福留 重人

発表時間	発表テーマと概要	発表者
第1部 13:00 ~13:15	<p>◆市販シラスバルーンの評価と高品質化 火山噴出物のシラスは、高温加熱すると軟化と同時に粒子内部に含まれる水分が水蒸気化して発泡し、ガラス質中空体(シラスバルーン)となります。県内には、シラスバルーンの製造企業が複数有り、物性も各社で異なります。そこで、市販のシラスバルーンについて、物性を評価し、高品質化について検討しました。</p>	シラス研究開発室 袖山 研一
第2部 14:35 ~15:05	<p>◆アルミニウム合金の低環境負荷切削技術に関する研究 環境負荷を減らすため、切削液の使用量を削減することが望まれています。そこで、低環境負荷のアルミニウム切削技術の開発を目的とし、アルコールミストによる加工法を考案しました。実験により、Diamond-Like Carbon (DLC) 工具とイソプロピルアルコール (IPA) ミストにより良好な加工面が得られることを見出しました。</p>	神奈川県産業技術センター 機械・材料技術部 横田 知宏
	<p>◆戦略的商品開発支援事業の事例紹介 神奈川県産業技術センターでは経営・技術・デザインが一体となり、商品開発における企画・開発・製造・販売の各段階にデザインの発想を導入した「戦略的商品開発支援事業(現:製品化・事業化支援事業)」を実施しています。平成23年度に(株)向洋技研に対して「商品の高付加価値化」に関わる支援をしました。</p>	神奈川県産業技術センター 技術支援推進部 守谷 貴絵

交通のご案内



会場と駐車場のご案内



ポスターセッションの様子



お問い合わせ先

〒899-5105

鹿児島県霧島市隼人町小田1445-1

鹿児島県工業技術センター企画支援部

TEL 0995-43-5111 FAX 0995-64-2111

E-mail: info@kagoshima-it.go.jp

参加お申し込みは

当センターのホームページから可能です。

<http://www.kagoshima-it.go.jp/>